



西林寺 山門 彫刻類



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖のことば
多くの人が
コロナ以前の生活に
戻りたいと
願うけれども
コロナ以前の生活に
戻れば
それで満足ですか

寄付御礼

次の尊いご寄付を頂戴いたしました。
ご芳志、厚く御礼申しあげます。

- 西林寺住職 河野行昭様
- 金一封 門徒総代会へ
- 金一封 仏教婦人会へ
- 金一封 仏教壮年会へ
- 右、西林寺寺族 清薫院釋好澄
(河野ツナ様)の香典返礼として
- 木村カズ子様
- 金一封 門徒総代会へ
- 右、釋實教(木村明夫様)の
香典返礼として
- 林宏江様
- 金一封 門徒総代会へ
- 右、積善院釋良尚(林義孝様)
本願寺院号申請御礼として
- 大畠みゆき様
- 金一封 門徒総代会へ
- 右、智真院釋慈見(大畠仁様)
本願寺院号申請御礼として

宗門における「SDGs (エス・ディ・ジーズ)」の取り組みの一環として、本堂内に募金箱を設置しています。「子どもたちの笑顔のために募金」を集計して、金5万円を本願寺に届けました。

仏教壮年会 あれこれ

境内 松の木剪定作業

10月20日から始めた剪定作業は、約2週間の時間を費やしました。境内には5本の松の木があり、秋の剪定作業は時間を要します。

今後、剪定する作業員の数を増やす必要を感じます。ご協力をお願いします。



ご講師を囲んで座談会

12月11日、報恩講法座夜席終了後、門信徒会館にて、ご講師の加藤一英先生とご住職を囲んで座談会をもちました。法話とは違った打ち解けたお話もでき、有意義な時間をいただきました。

仏教壮年会行事予定

- 一月 十三日(木) 御正忌前おみがき
- 三月 五日(土) 安芸教区公開講座

法座案内

御正忌報恩講

一月 十五日(土) 昼席より
十七日(月) 朝席まで

『御伝鈔』上巻拝読 十五日夜席
下巻拝読 十六日 昼席

講師 神石高原町 法泉寺 川上順之 師

御紐解法座

二月 二十日(日) 昼席より
二十一日(月) 昼席まで

講師 善福寺 長倉伯博 師
講師 鹿兒島市福山町

春季彼岸会

三月 二十日(日) 昼席より
二十二日(火) 朝席まで

講師 本立寺 朝枝暁範 師
講師 山県郡北広島町

編集後記

「二難去ってまた一難」。コロナの感染状況が好転してきたと思ったら、今度は新たな変異種オミクロン株が出現して、今年も不安な気持ちでのスタートになりました。いろいろな思いが交錯しますが、お念仏に問いながら、大切に過ごしたいと思えます。

普厳勧学と大瀛和上(10)

ふごんかんがく だいえいわじょう
安芸門徒の土徳は、大瀛や普厳等の芸徹の弛まぬ法義研鑽によつて育まれたものです。その遺書については、「大瀛所持之書籍並講録類」已後其寺之為 宝物永代ニ被致守護如実ニ修学出精可有之者也 学林役所」と、西林寺に永代所蔵が許可され、大切に保管されています。また、墓碑等は次のように複数建碑され、そのご遺徳が顕彰されています。

- ◇ 京都大谷本願墓所
- ◇ 東京築地本願寺境内
- ◇ 山県郡安芸太田町筒賀支所そば
- ◇ 可部勝円寺境内
- ◇ 西林寺境内
- ◇ 普厳勧学
- ◇ 京都大谷本願新勧学谷
- ◇ 西林寺境内



大谷本廟内新勧学谷 普厳勧学の墓碑

新勧学谷は大谷本廟内の墓所区画で勧学に就かれた先達を顕彰して建碑されたもの

聞思録(もんしりく)

新型コロナウイルスの感染者が国内で確認されて2年目を迎えました。ワクチン接種の普及や治療薬の開発、新変異株の出現等によつて、ウイズコロナの生活形態は新たな局面に入った気がしますが、マスク着用と三密回避の生活はまだ続きそうです。

そのような今こそ「杖のことば」の「多くの方がコロナ以前の生活に戻りたいと願うけれども、コロナ以前の生活に戻ればそれで満足ですか」という問いかけに、しっかりと向き合う必要があります。コロナのパンデミックによって日常は簡単に崩れてゆきました。子どもからお年寄りまで、差こそあれ、今しかできないことを断腸の思いであきらめたことのひとつやふたつはあるでしょう。その時に「コロナ禍さえなければ」という思いをもつたことでしょうか。しかし、コロナ禍が収まれば本当にそれで満足するのでしょうか。

私たちはどんなことでも日常化すれば「あたりまえ」に感じて喜ぶ心が薄らいでいきます。例えば、隣の家の人が夕刻「夕食を作りすぎたから食べてください」とお裾分けに持ってきてくださったとします。最初は感謝の思いでいますが、仮にそのお裾分けが一カ月毎日続いたらどうでしょう。感謝の思いよりも

「今日は何を持ってきてくださるかな」と期待し、「肉料理よりも魚の方が良いな」と思ったり、味の濃淡やおかずの量などなど。本来、感謝の思いしかなかったお裾分けをいただくことが不満を感じる要因に変質してゆくのです。どんなに感謝や喜び、満足に価することでも、それが日常化すると、感謝も喜びも薄らいで、逆に不平不満の要因になってゆくように、自分中心の心はコロナと簡単に変わってゆきます。その私に「どれだけ願いをかなえても、それで喜びも満足も永遠には続きません。あなたはすでに大なる恵みに包まれて生かされているのですよ」と、この身の事実に立って感謝と喜びの中に生きることが仏法を依りどころとする人生なのです。

また、自粛が求められたコロナ禍は、効率的に行動することを是とする偏った思考にとらわれる危険性をはらんでいます。それは人間の内面を深く考察し、本当の幸せを教える仏法を学ぶ時にも起こり得ることでもありません。仏法は「人生の意味(後生の一大事)」を問うことこそ、不要不急でない重要かつ緊急のことと教えますが、実は不要不急な雑多の出来事の中にこそ、「人生の意味」に出遇えるご縁があります。だから仏法を学ぶということは、常に問い返しを通してその危険性を気づかせしめ、「いのちの真実へのめざめ(本当の幸せ)」への歩みを促すのです。

「今日は何を持ってきてくださるかな」と期待し、「肉料理よりも魚の方が良いな」と思ったり、味の濃淡やおかずの量などなど。本来、感謝の思いしかなかったお裾分けをいただくことが不満を感じる要因に変質してゆくのです。どんなに感謝や喜び、満足に価することでも、それが日常化すると、感謝も喜びも薄らいで、逆に不平不満の要因になってゆくように、自分中心の心はコロナと簡単に変わってゆきます。その私に「どれだけ願いをかなえても、それで喜びも満足も永遠には続きません。あなたはすでに大なる恵みに包まれて生かされているのですよ」と、この身の事実に立って感謝と喜びの中に生きることが仏法を依りどころとする人生なのです。

また、自粛が求められたコロナ禍は、効率的に行動することを是とする偏った思考にとらわれる危険性をはらんでいます。それは人間の内面を深く考察し、本当の幸せを教える仏法を学ぶ時にも起こり得ることでもありません。仏法は「人生の意味(後生の一大事)」を問うことこそ、不要不急でない重要かつ緊急のことと教えますが、実は不要不急な雑多の出来事の中にこそ、「人生の意味」に出遇えるご縁があります。だから仏法を学ぶということは、常に問い返しを通してその危険性を気づかせしめ、「いのちの真実へのめざめ(本当の幸せ)」への歩みを促すのです。

安芸北組と西林寺

西林寺の所属する「安芸北組」は、安芸教区を25の「組」に分けて、旧安芸郡の北側に位置する23カ寺で組織されています。古くは「海田法中」と呼ばれ、ご法義相続のために「法中集会相続講」を結成し、文化13(1816)年には、本願寺本如門主から「なお一層励むように」とのご趣意のご消息をいただきました。

宗教離れが叫ばれますが、仏教の本質が現代に無意味なものとなったわけではなく、むしろ今ほどみ教えを人生の究極的な依りどころとして生きてゆくことが大切な時代はありません。だからこそ、安芸北組では、少しでも多くの皆さまにみ教えを伝え広めてゆくために、毎月の法中会(住職の集まり)を始め、



寺族婦人会・門徒総代会・仏教婦人会・仏教壮年会・青少年育成会等が組織され、ご門徒の皆さまといっしょに様々に活動しています。

初参式

11月20日、昨年来延期していました合同初参式を執り行いました。

4名のお子さまとご家族が参拝され、阿弥陀如来さまに新たないのちの誕生を奉告し、親子の絆を恵まれた不思議なご縁をお祝いました。



仏花研修会

11月5日、昨年に引き続き、西林寺坊守さまを講師として仏壇の阿弥陀如来さまにお供えするお花の活け方を学びました。

47名という予想以上の参加があり、意義深い研修会となりました。参加された皆さまから、お礼の言葉と同時に「毎年続けてほしい」との声を多数いただきました。



仏教婦人会 あれこれ

仏教婦人会主催報恩講

11月18日昼席より20日朝席まで、ご住職にご講師をお願いして、報恩講法座を修行しました。

今年もコロナの影響でお斎は中止せざるをえませんでした。延べ180人の皆さまのお参りがありました。



ダーナ募金のお願い

「ダーナ」とは布施のことで、西林寺仏教婦人会では、慈しみの心・支え合う心を実践するダーナ活動を推進しています。

宗門内外を問わず、社会福祉活動や貧困・人権・教育・環境保護活動等にも支援していただきます。

どうぞご協力をよろしくお願ひします。

仏教婦人会行事予定

一月 十三日(木)

御正忌前おみぎき

二月 十三日(日)

ダーナの日

※三月予定の念仏奉仕団本山参拝は中止します。